

社会資本総合整備計画 事後評価書																
計画の名称	伊勢原市便利で暮らしやすいまちの実現															
計画の期間	平成28年度 ～ 令和02年度 (5年間)												重点配分対象の該当			
交付対象	伊勢原市															
計画の目標	下水道整備を推進し、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全と豪雨による災害に強く安全・安心で良好な水環境の形成を目指す。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		2,334	A	937	B	1,397	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H30末)	(H32末)
1	①下水道（汚水）整備率を83.9%（H28）から91.3%（H32）に増加させる。			
	①下水道（汚水）整備率 下水道（汚水）整備済み面積（ha）／下水道（汚水）を整備すべき面積（ha）	84%	89%	91%
2	②下水道による都市浸水対策達成率を32.1%（H28）から32.4%（H32）に増加させる。			
	②下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）	32%	32%	32%
3	③アクションプラン策定率を0.0%（H28）から100%（H32）に増加させる。			
	③アクションプラン策定率 策定済計画数（件）／策定必要計画数（件）	0%	100%	100%
4	④処理場の主ポンプ整備率を57.9%（H28）から100%（H32）に増加させる。			
	④処理場の主ポンプ整備率 主ポンプ整備済み揚水能力（m3／分）／主ポンプ計画揚水能力（m3／分）	58%	58%	100%
5	⑤浸水シミュレーションの実施率を0.0%（H28）から100%（H32）に増加させる。			
	⑤浸水シミュレーションの実施率 実施済み面積（ha）／実施必要面積（ha）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
H30から重点計画へ切り出した事業個所の成果指標については、事後評価等を重点計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-1-1 第24分区下糟屋 地区（未普及対策）	污水管 \$ 200mm L=4,100m	伊勢原市	■	■				176		－
		H30重点移行																	
	A07-002	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-1-4 第24分区高森・ 石田地区ほか（未普及対 策）	污水管 \$ 200mm L=300m	伊勢原市		■				0		－
		H30重点移行																	
	A07-003	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-2-9 第4分区田中・伊 勢原地区ほか（未普及対 策）	污水管 \$ 200～500mm L=10 ,200m	伊勢原市	■	■				694		－
		H30重点移行																	
	A07-004	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-2-11 第1分区桜台・ 東大竹地区ほか（未普及 対策）	污水管 \$ 200mm L=200m	伊勢原市	■					0		－
	A07-005	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-2-10 第5分区沼目・ 桜台地区ほか（未普及対 策）	污水管 \$ 200mm L=400m	伊勢原市	■					35		－
H30重点移行																			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-006	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	終末処 理場	新設	A1-2-35 伊勢原終末処理 場（水質保全）	沈砂池・ソフ設備 機械設備 ・電気設備	伊勢原市		■				14		－
		H30重点移行																	
	A07-007	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 雨水）	新設	A1-2-8 渋田川第4幹線（ 浸水対策）	水路 L=59m	伊勢原市	■					18		－
	A07-008	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 雨水）	－	A1-3-1 浸水シミュレー ション（浸水対策）	シミュレーション業務	伊勢原市		■	■	■	■	0		－
	A07-009	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 汚水）	－	A1-3-2 下水道基本計画 策定	未普及解消アクションプラン 策定	伊勢原市	■	■				0		－
											小計						937		
											合計						937		

B 関連社会資本整備事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	B07-001	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-1-1 第24分区下糟屋 地区（未普及対策）	污水管 \$ 200mm L=4,100m	伊勢原市				■	■	■	439		—
		平成 2 8、2 9 年度は通常計画で実施済 平成 3 0 年度以降は重点計画に移行																		
		H30重点移行																		
	B07-002	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-1-4 第24分区高森・ 石田地区ほか（未普及対 策）	污水管 \$ 200mm L=300m	伊勢原市				■			0		—
		平成 2 8、2 9 年度は通常計画で実施済 平成 3 0 年度以降は重点計画に移行																		
		H30重点移行																		
	B07-003	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-2-14 第2分区伊勢原 ・桜台地区ほか（未普及 対策）	污水管 \$ 200mm L=150m	伊勢原市					■	■	0		—
		平成 2 8、2 9 年度は通常計画で実施済 平成 3 0 年度以降は重点計画に移行																		
		H30重点移行																		
	B07-004	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-2-15 第3分区板戸地 区ほか（未普及対策）	污水管 \$ 200mm L=100m	伊勢原市						■	0		—
		平成 2 8、2 9 年度は通常計画で実施済 平成 3 0 年度以降は重点計画に移行																		
		H30重点移行																		
	B07-005	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-2-9 第4分区田中・伊 勢原地区ほか（未普及対 策）	污水管 \$ 200～500mm L=10,2 00m	伊勢原市				■	■	■	735		—
		平成 2 8、2 9 年度は通常計画で実施済 平成 3 0 年度以降は重点計画に移行																		
		H30重点移行																		

B 関連社会資本整備事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	B07-006	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-2-10 第5分区沼目・ 桜台地区ほか（未普及対 策）	污水管φ200mm L=400m	伊勢原市				■			0	—
		平成28、29年度は通常計画で実施済 平成30年度以降は重点計画に移行																	
		H30重点移行																	
	B07-007	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	管渠（ 污水）	新設	A1-2-16 第6分区串橋・ 神戸地区ほか（未普及対 策）	污水管φ200mm L=200m	伊勢原市				■	■		0	—
		平成28、29年度は通常計画で実施済 平成30年度以降は重点計画に移行																	
		H30重点移行																	
	B07-008	下水道	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	終末処 理場	新設	A1-2-35 伊勢原終末処理 場（水質保全）	沈砂池ポンプ設備 機械設備 ・電気設備	伊勢原市				■	■		223	—
		平成29年度は通常計画で実施済 平成30年度以降は重点計画に移行																	
		H30重点移行																	
											小計							1,397	
											合計							1,397	

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価の透明性・客観性・公正さを確保するため、学識経験者等で構成された伊勢原市下水道運営審議会により、評価指標の実施状況及び今後の方針等について意見を求め、事後評価を実施した。	令和4年6月
	公表の方法
	伊勢原市ホームページで公開
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道整備を推進し、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全と豪雨による災害に強く安全・安心で良好な水環境の形成に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
引き続き社会資本整備総合交付金を積極的に活用し、公共下水道整備を推進します。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道（污水）整備率		
	最 終 目標値	91%	狭隘な道路が多く、迂回路を確保した工事が求められたため。
	最 終 実績値	90%	
2	下水道による都市浸水対策達成率		
	最 終 目標値	32%	
	最 終 実績値	32%	
3	アクションプラン策定率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
4	処理場の主ポンプ整備率		
	最 終 目標値	100%	令和元年度に全体計画の見直しを行い、計画汚水量が減少し、主ポンプの計画揚水能力を変更したため。
	最 終 実績値	80%	
5	浸水シミュレーションの実施率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

計画の名称	伊勢原市便利で暮らしやすいまちの実現		
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）	交付対象	神奈川県伊勢原市

